

事業番号	1	2	0
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	こまき巡回バス運行事業					担当部	都市政策部				
事業期間	平成10年度 ~ 令和2年度以降					担当課	都市整備課				
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	22	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	02総務費	項	08	目	03	大	03	中	02

2. 実施状況

<p>【平成30年度の実施状況】</p> <p>○(実計)こまき巡回バスを19コース18台の車両により運行した。 運行日数:361日(12月31及び1月1日、2日、3日の4日間を除く)</p> <p>○(実計)平成30年8月1日に19コース中10コースにおいて、ルート、バス停の位置の見直しを実施して利便性の向上を図った。</p> <p>○(実計)令和2年度の再編に向けて、市民・利用者アンケート、乗降調査、地域懇談会を実施し、市民ニーズを把握するとともに現行ルートにおける課題整理を行った。</p> <p>・実施日 市民アンケート:9月7日~9月21日 利用者アンケート:9月18日、21日、23日 乗降調査:9月18日、21日、23日 地域懇談会:11月10日、23日、24日</p>
--

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	決算額	財源	一般財源	千円	271,878	339,700
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	271,878	339,700	337,000	351,021	
			対前年比	%	-	124.9%	99.2%	104.2%	
			(当初)予算額	千円	247,492	340,692	342,399	359,315	358,538
	人件費		正職員	人	1.6	1.05	1.4	1.35	
			正職員(平均賃金)	千円	11,978	7,860	10,480	10,106	
			その他職員	人	0.2	0.2	0.2	0.2	
			その他職員(時給×時間)	千円	270	273	280	309	
			計(B)	千円	12,248	8,133	10,760	10,415	
			事業費合計(C=A+B)	千円	284,126	347,833	347,760	361,436	
指標	成果指標	こまき巡回バスの年間利用者数	目標	532,000	650,000	650,000	700,000	750,000	
			実績	490,837	625,473	686,265	736,216		
	活動指標	コース数	目標	13	19	19	19	19	
			実績	13	19	19	19		
		運行日数	目標	362	361	361	361	362	
			実績	362	361	361	361		
	@事業費	受益者数(a)	人	490,837	625,473	686,265	736,216		
		受益者あたり事業費(b=C/a)	円	579	557	507	491		

	改善点は見られない	改善点が若干見られる	○	大いに改善すべき
	診断結果	<p>○平成28年度は、北部、東部地区において再編を実施し、コース数などを拡充したことにより平成27年度に比べ事業費は増加となった。また、平成30年度は、令和2年度の再編に向けて、市民・利用者アンケート、乗降調査、地域懇談会を実施したことにより、平成29年度に比べ事業費は増加となった。</p> <p>○利用者数は年々増加しており、平成30年度の利用者数は、736,216人で、平成29年度の利用者数686,265人と比較すると、49,951人増で7%増加している。そのうち、約7割が65歳以上の利用者となっている。これは、出前講座、敬老会での啓発やバス乗り方教室などの利用促進を図ってきたことで市民にコース・ダイヤが周知されてきていることから増加に繋がっているものと考えられる。</p> <p>○こまき巡回バスの利用者数は、年々増加していることから、「受益者あたり事業費」は、年々減少している。</p> <p>○53コースの積み残しの解消を図るため、平成30年8月1日に13、14コースのルートの一部見直しを実施した。53コースでの積み残しは依然見受けられるが、一番積み残しが多く発生していた「北外山県住」バス停においては、13、14コースへ乗車してもらうことが可能となったため見直しの効果があったと考えられる。</p>		

#### 4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの			
	削減額・対象	事務事業評価による額	千円	予算区分	節
評価結果	<p>○積み残しの問題など現在の運行における課題や市民、利用者のご意見などを踏まえ、より効果的・効率的な交通体系となるようこまき巡回バスの再編を令和2年度に実施する。</p> <p>○費用対効果を検証しながら、更なる利便性の向上にむけて利用促進策を実施する。</p>				